

浜松市総合計画基本計画の策定について

1 概要

本市では、2014（H26）年12月に最上位計画として浜松市総合計画（基本構想及び基本計画）を策定した。

基本構想は、2015（H27）年度から2044（R26）年度を計画期間に定め、次世代（＝30年先）まで、市民の皆様と共有できる未来の理想の姿を示している。基本計画では、基本構想の実現に向けた道筋を定めるバックキャスト方式を導入し、2015（H27）年度から2024（R6）年度までの10年間の総合的な政策を定めている。

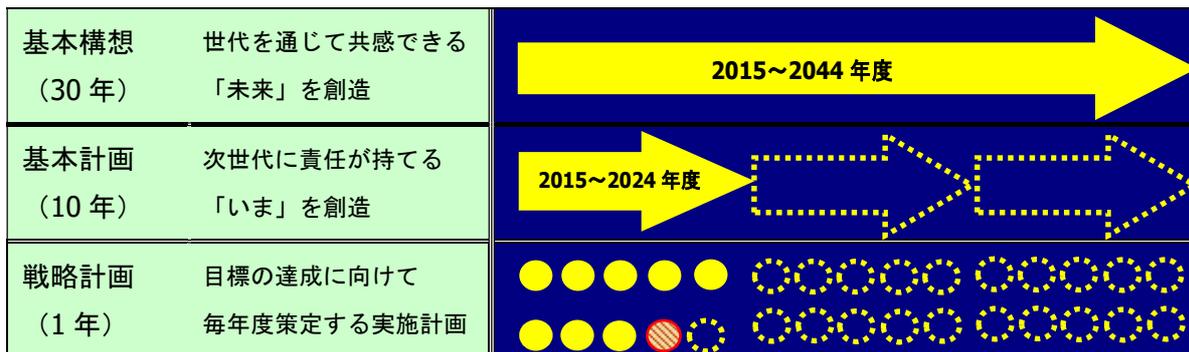
基本計画は「都市経営の考え方」「まちづくりの基本的な考え方」「分野別計画」で構成されており7つの「分野別計画」においては、30年後の理想の姿の実現に向けた「10年後の目標（政策の柱）」、「基本政策」、「基本政策の実現に向けた取り組み」を定めている。

なお、実施計画となる戦略計画は、政策実現のために進める具体的な事業を示し、毎年策定している。

【浜松市総合計画】

- 基本構想（浜松市未来ビジョン） 2015～2044（H27～R26）年度（30年間）
- 基本計画（第1次推進プラン） 2015～2024（H27～R6）年度（10年間）
- 実施計画（戦略計画） 単年度（1年間）

【参考】浜松市総合計画の体系・期間



2 現状・課題

2014（H26）年12月に策定した基本計画について、計画期間が2024（R6）年度で終期を迎えるため、次期基本計画の策定作業を進める。

3 スケジュール（予定）

年度	実施事項等
2023（R5）年度	庁内ワーキング、現基本計画の検証・分析、市民意識調査の実施、有識者会議の開催、基本計画（案）の検討
2024（R6）年度	パブリック・コメントの実施、区協議会への諮問、議決
2025（R7）年度	次期基本計画 計画期間開始

4 資料

浜松市総合計画（未来ビジョン（基本構想）及び第1次推進プラン（基本計画））